

**令和7年度 全国学力・学習状況調査**  
**教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河南中学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語、数学、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

**【本校と全国の平均正答率比較】**

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	54.3%					○
数学	48.3%					○
理科	503点 (IRTスコア)				○	

※中学校理科がCBT（コンピューターテスト）により実施され、学校ごとに出題された問題が異なることから、「平均正答率」に代わり「IRTスコア」という指標が使われるようになりました。

「IRTスコア」とは国際的な学力調査で採用されているテスト理論で、この理論を使うと異なる問題から構成される試験の結果を同じものさし（尺度）で比較できます。なお、標準点は500点となっております。

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	48.1%	○				
話すこと・聞くこと	53.2%					○
書くこと	52.8%					○
読むこと	62.3%					○

【考 察】

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域で、全国平均を上回りました。特に、物語の登場人物の設定を正しく捉え、どのような人物像なのかを読み取る問題が高い正答率でした。また、目的に応じて情報を選び、表現を工夫して書いたり話したりする力も伸びています。授業で行う伝え合いや振り返りのまとめ活動が生かされていると考えています。今後も多様な言語活動を通し、読解力や表現力を高めていきます。
- 文章に即して漢字を正しく用いる力を伸ばす必要があります。普段から漢字を用いたり、語句の意味・用法を調べたりする活動を、授業や家庭学習で取り組ませていきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	43.5%					○
図形	46.5%	○				
関数	48.2%					○
データの活用	58.6%					○

【考 察】

- 「数と式」「関数」「データの活用」の領域では、全国平均を上回りました。今後は、さらに活用力を伸ばせるように、課題を統合的・発展的に捉え、条件を変えた場合についても、数学的表現（式、表、グラフなど）を用いて解決するような、思考力・判断力を育む授業の充実に努めていきます。
- 「図形」の領域では全国平均を下回りました。普段の学習活動では解けていたであろう問題を、問題文の意味を取り違えて、間違った解答をしている生徒が目立ちました。今後は、問題文の意味を正確に捉えられるよう、読解力を高める指導を工夫していきます。

### 【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

※理科については、一部の共通問題を除き、学校ごとに出題された問題が異なり、かつ公表されている問題も全体の4割程度となっており、国語や数学のように領域別の正答率が提供されていないことから、考察のみ記載いたします。

### 【考 察】

- 全体的に無解答率が低いことから、問題に粘り強く取り組み、意欲的であると考えられます。また、記述式の正答率が高く、思考したことを言語化し、文章にして表現する力がしっかりと身に付いているということが分かります。今後も、実験を中心に予想からより深い考察につなげる学習活動を充実させ、生徒の思考力と表現力の育成に力を入れていきます。
- 電気回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が十分に身に付いていないことが明らかになりました。苦手意識をもちやすい内容でもあるので、実験と考察を丁寧に行い、知識と技能の定着を図っていきます。

**令和7年度 全国学力・学習状況調査  
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河南中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
中	全 国	27.4	50.1	19.2	2.8
3	白河南中	32.1	50.0	14.3	3.6

(単位 %)

**【考 察】**

- 本校では、自己マネジメント力を身に付けるために、R-PDCAサイクルを意識した学習活動に積極的に取り組んでいます。家庭学習では、どのような内容を何を用いて学習をするかを自ら考え、計画的に学習に臨む生徒が増えてきました。
- 今後も、生徒が自分にあった学習方法を見付けられるよう、個に応じた支援に努めていきます。また、テスト後の振り返りを重視し、自分が苦手とする分野や単元に気付き、学習内容を充実していけるよう支援していきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中	全 国	9.9	20.9	30.8	19.1	11.3	7.7
3	白河南中	10.7	17.9	42.9	21.4	1.8	5.4

(単位 %)

**【考 察】**

- ほとんどの生徒が家庭学習を行う習慣を身に付けることができています。部活動を引退し、放課後の時間が長くなった生徒も多いので、家庭での過ごし方を工夫できるよう支援をしていきます。
- 本校の家庭学習の型「白河南中スタンダード」を用いて、さらに家庭学習の内容を充実させ、自己目標を達成できるよう、進路指導と連携して引き続き指導をしていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中	全 国	23.0	50.4	21.3	3.7
3	白河南中	30.4	60.7	7.1	1.8

(単位 %)

【考 察】

- 9割を超える生徒が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答しています。本校では、R-PDCAサイクルのC: Checkにあたる「振り返りの充実」を意識した授業を実施しています。授業を通して分かったことや分からなかったことを言語化することで、基礎学力の定着を図っています。
- 今後は、授業の振り返りで言語化したことを発表するなど、他者に伝える活動を積極的に取り入れ、表現力の育成を図りながら学びを深めていけるよう指導していきます。また、授業での振り返りを生かし、「授業とリンクした家庭学習」の指導に努めていきます。

4 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

		発表していた	どちらかとい えば、発表し ていた	どちらかとい えば、発表 していなかつ た	発表してい なかつた	発表する機 会はなかつ た
中	全 国	18.9	44.1	25.5	9.0	2.0
3	白河南中	16.1	32.1	41.1	8.9	1.8

(単位 %)

【考 察】

- 本校の生徒は、自分の考えを「書くこと」を得意としており、多くの授業で自分の考えをノートやワークシートにまとめることができます。一方で、自分の考えを自ら発表したり、積極的に他者に伝えたりしようとする場面では課題が見られます。
- 今後は、生徒が安心して発表できる環境づくりに努めるとともに、様々な授業で発表する場を積極的に設定し、自信をもって自分の考えを他者に伝えられる生徒の育成を目指していきます。また、本校で作成した「話すこと・聞くこと3箇条」をもとに、話す目的、聞き手、内容を意識した発表ができるよう指導していきます。